

# 十倉防災マップ

## 災害用伝言ダイヤル

大災害発生時は電話利用が殺到し、電話が繋がりにくい状況になることがあります。このような場合は、「災害時伝言ダイヤル」が開通され、被災地やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

- 伝言を登録する**  
 [171]にダイヤル ▶ [1] ▶ (市外局番) 000-0000
- 伝言を聞く**  
 [171]にダイヤル ▶ [2] ▶ (市外局番) 000-0000

※各携帯電話会社の災害用伝言板もあります。

## 緊急連絡先

**三田市災害対策本部 (市役所)**  
**TEL 563-1111**

**消防署 (火災・救急)**  
**TEL 119**

## 我が家の緊急避難場所

## 我が家の避難のタイミング

## 緊急連絡先

連絡先	電話番号

## 非常持ち出し品 (避難する時に持ち出すもの)

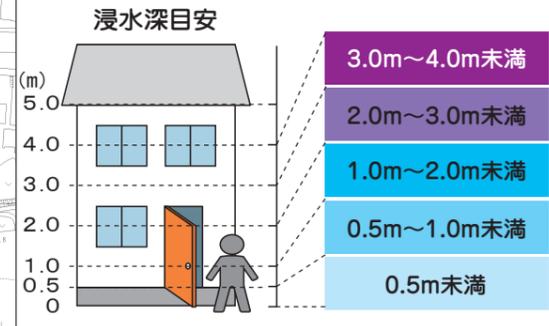
- メカネ、補聴器、入れ歯、普段飲んでいる薬
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、携帯充電器
- 現金 (小銭が重宝)、貴重品
- ヘルメット・防災頭巾、運動靴、軍手

## 備蓄品 (避難生活に備えて家などに蓄えておくもの)

3日分以上の備蓄は必要!

- 飲料水 (1人1日3リットル分の水は飲料用に必要です)
- 乾パンやクラッカー、缶詰 (保存期間が長く、火を通さなくても食べられるもの)
- レトルト食品
- ナイフ、缶切り
- 粉ミルク・ほ乳びん (赤ちゃんがいる場合)
- シリアル・野菜ジュース
- 飲料
- 乾パンやクラッカー、缶詰 (保存期間が長く、火を通さなくても食べられるもの)

## 浸水深の色の見方



## 土砂災害

- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地滑り)
- 山腹崩壊危険地区
- 土砂災害特別警戒区域
- 土石流危険渓流
- 山腹崩壊危険地区

## 【凡例】

- 消 消火器
- 消 消火栓
- 防火水槽
- 防災倉庫
- AED 設置施設
- 車両通行不可
- 危険箇所
- 水道
- 避難経路

土砂災害特別警戒区域指定図書(平成29年3月15日現在)に基づき記載しています。

**落ちついて火の元確認 初期消火**

**あわてぬ行動 けがのもと**

**隣がゆがもう わが家の安全 隣の安全**

**避難の前は 安全確認 電気・ガス**

**こんなときは赤信号 土砂災害の前ぶれ**

大雨のときは土砂災害の危険性も高まります。次のような状態に気づいたら、すみやかに避難しましょう。また、市役所に通報してください。(TEL:563-1111)

- がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。
- 川が濁ったり、流木がまざり始める。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 斜面から水が湧き出る。がけからでる水が増える。
- 斜面にひび割れができる。
- 土溜りの音が聞こえてくる。

## 避難の方法

**避難所へ避難する場合**

- 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 川沿いや橋、がけ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 動きやすい服装で、2人以上で避難しましょう。
- 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れず、電気のブレーカーも落としましょう。

**屋内で避難する場合**

- 水害の場合** 周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。
- 土砂災害の場合** 家中で2階のがけ、山から離れた部屋に避難する、または寝室とする。

ポイント: 夜間、浸水が始まった時の避難は、足元が見えず危険

ポイント: 土砂災害の犠牲者の多くは1階で被災

平成21年台風9号の際に激しい降雨と浸水の中での避難中の被災事例から、状況に応じて、小・中学校等の避難所への避難だけでなく、屋内での垂直避難も有効であります。

